

週間感染症情報

2024年14週 2024年4月1日より2024年4月7日まで

14週

麻疹	
風疹	
水痘(みずぼうそう)	
ムンプス(おたふくかぜ)	
百日咳	
溶連菌感染症	15
手足口病	
ヘルパンギーナ	
伝染性紅斑	
感染性胃腸炎	25
ロタウイルス(再掲)	
便アデノウイルス(再掲)	
突発性発疹	1
伝染性膿痂疹(とびひ)	1
ヘルペス性口内炎	
アデノウイルス感染症	6
RSウイルス感染症	2
マイコプラズマ感染症	
ヒトメタニューモウイルス	
インフルエンザ	29
インフルエンザ A	1
インフルエンザ B	28
新型コロナウイルス感染症	44

新年度が始まりました。医療と介護の制度が色々変わりました。今年度最初の14週の報告です。小児の発熱患者は少なくなり、ゆっくり診察できるようになりました。右下のグラフの様に新型コロナウイルス感染症の報告は減少傾向です。ゼロにはなりません。報道されることはなくなりましたが、介護施設などでクラスターが出ているようです。感染源不明の小児例もみかけます。インフルエンザBの報告は減少して終息していくと予想されます。今シーズンは、2023年はA型、2024年に入りB型と大きな流行になりました。1シーズンで、今までのほぼ2倍の報告がありました。

溶連菌の報告は続いています。

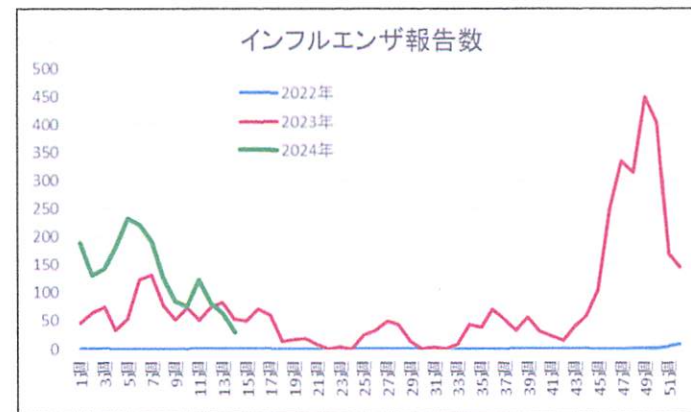
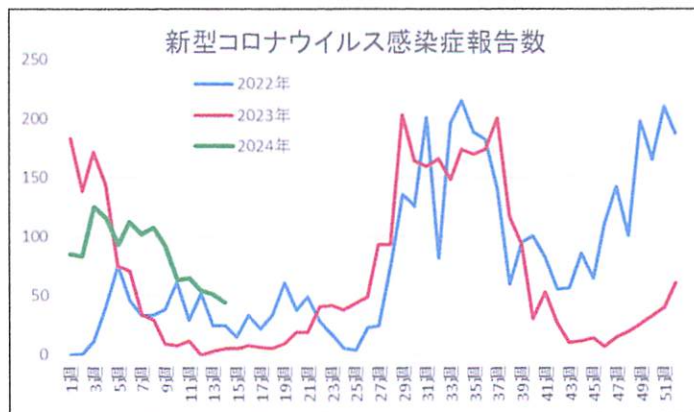
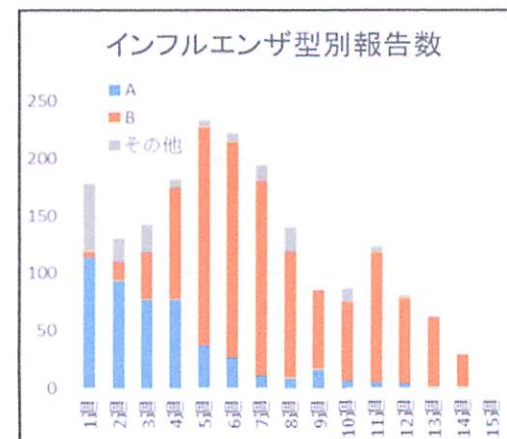
RSウイルス感染症の報告がありました。今後の流行が心配です。

麻疹の流行が心配されていますが、ワクチンを2回接種していればほぼ患することはありません。1歳児・年長さんはMRワクチンを早めに接種しましょう。

体調不良の場合は休み

手洗い・換気に努めて下さい。

医療機関・密な環境・公共交通機関では
マスクの着用をぜひお願いします。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)